

安全データシート

改訂日2017年6月5日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: 炭酸リチウム
会社名	: チカモチ純薬株式会社
住所	: 大阪市北区大淀南1-9-16(山彦ビル)
担当部門	: 営業部
電話番号	: 06-6453-2062
FAX番号	: 06-6453-2063

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分4
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分2B
生殖毒性	: 区分1A
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響	: 追加区分
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分1(神経系)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 区分1(神経系、腎臓)

環境有害性

水生環境有害性(急性)	: 区分2
水生環境有害性(長期間)	: 区分2

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害、眼刺激、生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ、臓器の障害、呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
水生生物に毒性、長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急処置

漏出物を回収すること。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:

化学物質

成分名 : 炭酸リチウム

化学特性(示性式) : Li_2CO_3

含有量(%) : 99.0以上

NW : 73.89

CAS番号 : 554-13-2

官報公示整理番号(化審法・安衛法) : 1-154

ECNO : 209-062-5

4. 応急措置

応急措置の記述

一般的な措置 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤、周辺設備に適した消火剤を使用する。

この製品自体は燃焼しない。

特有の危険有害性

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

防火服/防炎服/耐火服を着用すること。

耐寒手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法・機材

掃き集めて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

蒸気、ミスト、ガスを吸入しないこと。

安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標

暴露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

空気呼吸器(SCBA)を着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

眼鏡/顔面保護具を着用する。

衛生対策

妊娠中/授乳期中は接触を避けること。取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状

: 結晶又は結晶性粉末

色

: 白色

臭い

: データなし

pH

: 約10~11 (5g/L, 20°C)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点・凝固点

: 723°C

沸点・初留点

: 1310°C

分解温度

: 1310°C

引火点

: データなし

自然発火温度

: データなし

爆発特性

: データなし

蒸気圧

: データなし

蒸気密度

: データなし

比重/密度

: 2.1 g/cm³

溶解度

水に対する溶解度

: 1.3 g/100 ml

n-オクタノール/水分配係数

: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

: 重合暴走反応は生じない。

化学的安定性

: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

: フッ素と激しく反応する。

避けるべき条件

: 混触危険物質との接触。 加熱。

混触危険物質

: 強酸、フッ素

危険有害な分解生成物

: 炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

rat LD50=525 mg/kg (PIM 309F, 2000)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

rat LD0(GLP準拠)= 2000 mg/kg(IUCLID, 2000)

局所効果

皮膚腐食性及び刺激性

[日本公表根拠データ]

ラビット :軽微な刺激性 (IUCLID, 2000)

眼に対する重篤な損傷又は刺激性

[日本公表根拠データ]

ラビット :軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

感作性

: データなし

生殖細胞変異原性

復帰突然変異原性試験(エームス試験): 陰性

催奇形性

: データなし

発がん性

: データなし

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

cat.1A; 医療用医薬品集, 2010

cat.add; 医療用医薬品集, 2010

短期暴露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回暴露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(炭酸リチウム) 神経系 (IUCLID, 2000)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

気道刺激性 (KemI-Riskline NR 2002:16)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

神経系、腎臓 (医療用医薬品集, 2010)

吸引性呼吸器有害性

: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に毒性

長期継続的影響により水生生物に毒性

水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

魚類(マミチヨグ) LC50 = 8.1 mg/L/96hr (AQUIRE, 2011)

水溶解度 1.3g/100ml(ICSC, 1999)

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

環境有害性

海洋汚染物質__長期間有害性

炭酸リチウム

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法に該当しない。

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2014 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE)

事業者向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版,経済産業省)

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成しています。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の取扱い方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなど

の特殊な取扱い方法は想定しておりません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもありますが、いかなる保証をなすものでもありません。